

東大の水の研究者集合！— 第1回東大水フォーラム開催 —

東大で水に関わる教育研究に携わっている教員に加え、AGS傘下で水に関する分野横断的な勉強会を推進している大学院生4人も含め、6つの部局、12の研究室から合わせて20人が集まり、第1回東大水フォーラム研究集会が2005年5月に旭川で開催されました。

水に関わる学術研究は多分野に横断的に関係しているにも関わらず、ともすれば他大学の同じ狭い分野の研究者と連携することが多く、学内ではどこにどういいう水関連の研究者がいて、どういう問題意識でどういいう研究をしているのか全体像が掴めない状況でした。法人化を機に、水という切り口で学内の情報交換を進め、より有機的に研究を進められるように、と企画されたのがこの東大水フォーラムです。

足掛け3日間にわたって各人がそれぞれの教育研究の現状や最先端を紹介したり、湧水やバイオトイレや地下水利用の現場を見学したり、今後の学内連携について話し合ったりしました。ぜひこうした研究会は続けるべきだ、という意見が大勢を占め、今回参加し

たくても都合がつかず残念ながら来れなかったという意思表示をした方も数多くいたことから、次回以降、キャンパス内での研究会を開催(10月28日予定)したり、メイリングリストやウェブを通じた情報交換を進めたりすることとなりました。



集部屋での熱心な議論

ご興味のある方は、utuf@rainbow.iis.u-tokyo.ac.jpまでどうぞご連絡ください。(生産技術研究所 沖 大幹、大学院工学系研究科 滝沢 智、大学院農学生命科学研究科 溝口 勝)

(<http://ags.esc.u-tokyo.ac.jp/utsc/workgroup/water/forum/>)



合宿に参加した“水”研究者たち